

令和4年度 第2回豊田市地域保健審議会

開催日時：令和5年3月29日（水）午後2時～午後3時40分

場所：豊田市役所南庁舎7階 南74委員会室

出席者（敬称略）：加藤真二（会長）、岩月幸雄、重松良祐、中田繁美、中出美代、長谷川喜代美、吉田哲也

（欠席者）：田代和久、大橋一之、田中充子、谷友一郎、宮澤清人

（市側出席者）古澤保健部長、竹内保健所長、佐野保健部副部長、河合総務課長、浅井保健衛生課長、前田感染症予防課長、長島地域保健課長、大久保保健支援課長、宮川子ども家庭課長、鈴木感染症予防課感染症業務担当主幹、鷹見総務課健康づくり業務担当副主幹、都築総務課副課長（司会）

●古澤保健部長
豊田市挨拶

●竹内保健所長
豊田市挨拶

○加藤会長
審議会会長挨拶

○各出席者
委員紹介

○加藤会長
本日の議事録署名人を、議長より2名指名させていただきます。議事録署名者は、長谷川喜代美委員と岩月幸雄委員をお願いいたします。

議事

【協議事項】

（1）（仮）豊田市健康づくり運動プラン（第四次）の策定について

○重松委員

（仮）豊田市健康づくり運動プラン（第四次）策定委員会において会長を務めている重松と申します。本会は、7月から4回、策定委員会を開催していま

す。

詳細につきましては、事務局の方から説明をお願いします。

●河合総務課長

協議事項1「(仮)豊田市健康づくり健康プラン(第四次)の策定について」説明

○岩月委員

豊田市健康づくり協議会の岩月と申します。

現行計画の評価・社会情勢の変化の中の社会情勢の課題の四つ目、「ヘルスサポートリーダーをはじめ、地域活動の担い手が不足」という項目、それと計画策定のポイントで「②多様な主体との連携強化」、私たちはボランティアという形で活動させていただいておりますけれども、いろんな資格を持った方だとか、大変なスキルを持った方との連携というのがこれから重要なのかなと。

ヘルスサポートリーダーというのは、本当の一番の裾野でして、ボランティアでいろいろ健康づくりについて、勧奨する、或いはおせっかいをするみたいな、もっと運動したほうがいいよ、食べ物はバランスよく食べたほうがいいのか、健康診断を受けましょうねというような、そんな活動を中心にさせていただいております。

やはり、スキルとしては、特にコロナの影響もありましたが、市の方がやっていたらいい養成講座の方も、以前のような十分な内容で養成していただくという部分がなかなかできなくて、とりあえず基礎的なことだけ勉強して、ボランティアとして活動しながらスキルを上げてってくださいみたいな方向に今なっているわけですが、そういう意味でいろんなスキルを持っている方、資格を持っている方、そして、やはりある程度お金が、ボランティアはいいですけど、それなりの技術とかスキルを持っている人はある程度、お金の方の対応をしていただいて、そこで一緒に連携して活動が充実できる、そのような方向で、基本目標、重点取組の中でも、4番に「地域、ボランティア、民間事業者等による新たなつながりの創出」という言葉が掲げてありますけれども、この辺を、ぜひ肉付けしていただいて、具体的に活動の充実につながるような施策を打っていただけるとありがたいなと思っております。

○加藤会長

はい。ありがとうございます。ただいまの件に関して何か追加の発言ございますか。例えば、スキルを持った、資格を持った方々というのはどういった職種でしょうか。

○岩月委員

例えば、健康運動指導士とか。特にここでは運動プランということもありますので、特にそちらの方でとか、個人では資格はわかりませんがいろんな健康づくり教室ですかね。月謝をある程度もらいながらやっている方もいるので、そういう方たちと今のところそんなに強固な連携ができてないと思っているので、せっかく豊田市内でいろいろ活動されている方もいるし、スキルを持っている方もみえるので、そういう方たちと連携して、私たち、一番裾野はやりまますので、ぜひスキル活かした連携した活動ができたらなというふうに思います。

○加藤会長

はい。ありがとうございます。今の御意見、食という話もちよっと出ましたけど、中出先生、いかがでしょうか。何か御意見とか今の全体で。

○中出委員

確認ですが、第三次豊田市食育推進計画とありますが、今、国は第四次食育推進計画となっていて、令和4年度からそれが始まっていて、様々な市町村では第四次に置き換わってきているところだと思うんですね。令和6年から、6年間ということであつたら、ここは豊田市さんの方で、計画があるのなら、第四次になると思うのですが、第三次の年号年数がわからないので、確認させていただきたいなと思いました。

●河合総務課長

食育の計画につきましては、豊田市では現行計画が第三次の計画になりますが、次期計画では、この健康づくり豊田21計画と、あと自殺対策計画の相互と合わせて、この三者で一体的、一つの計画として策定をして参ります。

この際に名称をどうするかと言うことは、現状まだ決まっておらず、仮称ということで、豊田市健康づくり運動プランとまとめさせていただいておりますが、この次期プランの中には、食育推進計画を包括されるというふうにとらえていただきたいと思います。

○中出委員

内容をお見受けすると、デジタル化に対応した食育推進であるだとかの第四次の内容が入っている気がしますので、そういったところを推進していただけるといいかなと思います。

あとは、Z世代といわれる若い世代の食育の推進というのはどこの市町村、行政もテーマだと思うので、是非ともそういったところを推進していただきたいのと、彼らは動くものに特に興味があるので、動画ですとか、SNSとかそういったものを使った発信がないとなかなか食いつかないのではないかと

います。

●河合総務課長

国の食育の計画、これは大きな方針と捉えております。この中でも若い世代向けの食育をどうするかですとか、デジタル化をどう取り入れるかとか、大きな議論になっていくと認識しております。それを踏まえた上で本市の食育も含めた健康づくりの計画策定をしたいと思っております。

○加藤会長

はい。ありがとうございます。確認ですが、要するにこの第三次から第四次に入るところ辺りというのは、もうこちらの健康づくり運動プランの中に包括されてしまうのでこの言葉自体がなくなるという認識でよろしいですか。

●河合総務課長

この食育推進計画ですとか、あとは自殺対策計画などの言葉は直接的には出てこないのかなと思っております。

○加藤会長

中に包括されるということですね。

●河合総務課長

次期計画の正式名称は、未定の状態ですが、その中で少なくとも内容としては、食育、自殺対策といったものも盛り込まれてくるというものになります。

○加藤会長

よろしいでしょうか。その他、何か御質問等はございますでしょうか。

本当に担い手が不足しているとか、そういうのはすごくの大変な話だというふうに聞いていて思いましたけど、本当に定年の延長とか、逆にこちらにしてみると大変なことなんだなというのを実感いたしました。あと何かその他で、重松委員、何か御意見ありますか。

○重松委員

個人的には、スポーツとかボランティアとか、かなり似たようなフィールドで活動していると思うんですけど、確かにこの担い手がなくて、育ててはいるんですけど、次世代の方、世代交代がなかなかできないことが悩みだったり、参加者の顔ぶれが同じだとかということがあったりしますので、この重点取組にありますけど、新しいつながりの創出によって、新しい方が、新しい層が参加してくれたらいいかなってということで、こういう案にまとめておりま

す。

○加藤会長

はい。ありがとうございます。その他、何かありますか。

健康スポーツ医とかも、例えば、自分が病院をやっているので、病院の中に数名いて、そういうことをやりたいというふうに言っていますので、ぜひお声掛けいただけるとありがたいなというふうに思います。

何か、自分がこうやって、新体制というか、こういう立場でいろんな運動していますので、職員も同じ心が十分根づいていますので、どんどん来ていただければありがたいなというふうに思います。はい。ありがとうございました。

では、他に御意見がないようでしたら次の議題に移りたいと思いますけどよろしいでしょうか。事務局は、今の御意見を踏まえて進めていただきますよう、よろしく願いいたします。

【報告事項】

(1) 今年度の重点取組について

●前田感染症予防課長

重点取組項目の項目番号1「新型コロナウイルス感染症への着実な対応」、重点取組項目の項目番号2「新型コロナウイルスワクチン接種の推進」、重点取組項目の項目番号3「平時からの感染症予防対策及び大規模災害等発生時の体制強化」について説明

●河合総務課長

重点取組項目の項目番号4「まちぐるみで取り組む心とからだの健康づくりの充実」について説明

●長島地域保健課長

重点取組項目の項目番号5「地域特性に応じた地域主体の健康づくりの充実」について説明

●大久保保健支援課長

重点取組項目の項目番号6「精神障がい者や難病患者等の自立支援体制の推進」について説明

●浅井保健衛生課長

重点取組項目の項目番号7「日常における食品衛生・環境衛生の安全・安心

の確保」、重点取組項目の項目番号8「人と動物の共生社会の推進」について説明

●宮川子ども家庭課長

重点取組項目の項目番号8「児童虐待防止の更なる強化」、重点取組項目の項目番号10「子育て家庭の不安や負担の軽減」について説明

○加藤会長

御意見、質問等がありましたら、よろしく申し上げます。かなり多岐に渡りました。

重点取組項目の項目番号1から3が、コロナなどいわゆる感染症対策という形になるかと思えますけども、これに関しては何か御意見等ございましたら。長谷川委員、何かありませんか。

○長谷川委員

コロナに関しては特にありません。

○加藤会長

その他、何か予防接種事業で、新しくワクチンも始まったということですね。その他、何かございませんか。

○重松委員

5ページの項目番号4番とか、その次のページの項目番号5番あたりが関連するかと思うんですけど、5ページに関しては、下にあります次期健康づくり関連計画策定とかですね。先ほどの話にも関連するかと思えますのでここでは割愛しますが、6ページのところが、割と自分のやっている研究にも絡んできますが、実は私、前職が三重大学の教育学部にいまして、三重県津市とのやりとりも結構あるんです。それとの比較にもなるかと思えますが、例えば、一番下のところの、(4)共働による健康づくりの活性化というのがあって、右側には養成講座が9月に12人、1月に15人いらっしゃった。年間27名いらっしゃるということでしたけど、今年度の津市よりは多いなと思いました。活発だなんていう印象を受けました。人口比が津市の方が少ないので、それを差し引いたとしても、活発だなんていう感じはいたしました。

一番下のところ、左側の③のところ、交流館等での健康ブースの設置、実はこの年度明けの5月ぐらいから、保見の交流館で、中京大学の学生、私のゼミ生とかと一緒に交流館に行かせていただいて、健康の運動をちょっと紹介したりとかすることもありますので、そういうところに、市民全体の方に、それは開かれてるものなので、特に高齢者の方なんですけど、そういうところにへ

ルサポさんたちにも来ていただければ、保見だけじゃなくて、そこから市内全体へ発信とか、活動の拡大っていうことができるのかなと思いますので、ちょっと参考までに意見申し上げました。ありがとうございます。

○加藤会長

はい、ありがとうございます。また、参考によろしく願いいたします。
その他、何かございませんか。全体通してでも構いませんけど。
中田委員、何かありますか。

○中田委員

この4年度の取り組み事例、今、見させていただいて、頑張ってくれたなということだと思います。私たちも福祉の世界で本当にコロナ渦であっても、やっぱり福祉の最前線である以上、止めるに止めれない、止めたらとんでもないことになるという、やっぱり教訓のもと本当にこの3年間苦しんできました。これはこの対策を頑張っていたいただいた保健所、同じ気持ちだと思っております。ただ、ここに書かれたことについては、本当に私も感謝するし、認めるし、ありがたいなと思っているんですけど、これからのコロナ禍、ウィズコロナ、アフターコロナかもしれないんですけど、やっぱりキーパーソンになるのは公衆衛生を頑張っていた保健師だというふうに思っています。私たちもヘルパーが人材不足だと言われながら、やっぱりヘルパー、在宅介護を頑張っていたかなくては困る。行かないことによる、例えば1人でお宅におられた、なんか応答がないなと思っていたら、新聞には出ませんが、数名、中で倒れて見えたというような話も現にあります。ですので、止めるに止められない苦しい中で感染を持ち込むかもしれないけどもという、本当に恐怖の中で頑張ってきたんですけど、そんな中でやっぱり保健師の頑張り、これから保健師の頑張りにも期待するところです。ただ、そうあったときに、今、説明があった中で、感染症のところちょっと言葉を使われたんですけど、職員の負担軽減という言葉がどうも嫌です。負担は負担です。負担は負担だけでもやっぱり止めるに止めれない、やめてはいかんという、やっぱり考えていった時に万全を期するけども、やっぱり職員、頑張ってくれよというようなことで、やっぱりこれからの福祉の世界頑張っていきたいと思っておりますけども、負担軽減という言葉を使うと市民からは相当おしかりを受けるなということだと思いますので、あまりこういう言葉は使われない方がいいかなということを考えています。以上です。

○加藤会長

はい。ありがとうございます。あと、吉田委員、ございませんか。

○吉田委員

それこそ、ワクチン接種に関しては、ワクチンの分注ということで参加させていただきまして、協力させていただきました。

2点ほど質問をさせていただきたいなと思ったのは、結核のところで、DOTSの実際に何かコロナ禍でDOTSの服薬確認システムですかね、服薬確認の件数が減ったのではないかという話もあったりとか、その辺のところ実際どうなのかとか、それはどうなんですかね。

○加藤会長

データの持ち合わせがなければ後日回答でも。

●長島地域保健課長

はい。地域保健課になります。

DOTSについては、地域保健課の保健師の方が実施しておりますが件数については、すみません、ちょっと持ち合わせがないので、また報告させていただきたいと思います。方法等については、コロナ禍であっても変更しておりませんので、従前通り実施させていただいております。4年度の実績については、後日、何らかの方法で報告させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○吉田委員

ありがとうございます。もう1点、自殺予防の件に関して、ゲートキーパーの養成とかで研修とかあったりするんですけども、実際に自殺者が自分から相談に来るのは、ほぼほぼないんではないかという話もあったりするものですから、いわゆる自殺者をいかに発掘するか、いかにこちら側から発見するかっていうのが重要になるのかなと思ひまして、その辺のところの計画とかいうものが、もし実際にあれば、教えていただければありがたいなと思います。

●河合総務課長

自殺対策の考え方につきましては、全くご指摘のとおりでございます。

自殺を考えられるというような方が直接ご相談に出向かれるということはもちろんないというわけではないと理解しておりますけれども、決して容易なことではないというふうに認識をしております。そういった中でやはり一つの大きな取り組みはこのゲートキーパー研修なのかなと思います。ご自身の周囲の方で少しご様子がおかしいようなことがもしありましたら、どうしたのと、まず一声掛けていただく。そこからですね、相談に来ていただいたり、或いは対応していただけるような相談先を紹介していただきたいといった取り組みを進めるためにですね、この研修をコロナ禍であってもしっかり進めておるところでございます。

自殺対策については市民の方々に御理解いただきたいのはですね、もしメンタル的に追い込まれるようなことがあったといたしましても、対応していただくような相談先があるんだよということはしっかり知っていただきたい。そういった方がもし身近におられるようなことがあったら、まず、一声かけていただきたいという考え方のもとですね、現行の計画は豊田市自殺対策計画ということで定めさせていただいております。この計画の中でも、その考え方を基本的な骨子として盛り込んでおりますし、次期プランでも同様の考え方は引き続き継続していきたいというふうに思っております。

○吉田委員

ありがとうございます。すいません。

要は医師会も歯科医師会も薬剤師会もそうなんですが、豊田市とみよし市を含んでいるんですね、会としては。豊田市さんは中核市として、いろんな計画を立ててみえて、みよし市の方は衣浦東部保健所が計画を立ててやっているものですから、要は三師会の会としては、二つ計画を実施されている機関があるということになるものですから、その辺のところのその対応がなかなか大変な部分がありまして、もし、そんなことができるかどうかわからないんですけども、みよし市、衣浦東部保健所さんの方と、豊田市さんもちょっと連携ができるような何かものがあればなっていうのが、一つ思うんですけども、まだこれからの検討として、お願いできればなと思います。以上です。

【報告事項】

(2) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について

●長島地域保健課長

報告事項 2「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について」説明

○加藤会長

結構しっかりした、いわゆる社会的孤立しているような方を何とか拾い出そうという努力ですね、すごく素晴らしいことだなと思います。

先ほどの対象というか参加してくれる人が少ないとかっていうことが問題点でもあった中で、こういうふうな社会的に孤立しているような人たちにアプローチができるというのはすごく大事なのかなというふうに聞いていて思いました。ありがとうございました。

【協議事項】

(3) 予防接種法の一部改正に伴う定期予防接種の変更について

(4) 任意予防接種費用助成事業の変更について

●前田感染症予防課長

報告事項 3「予防接種法の一部改正に伴う定期予防接種の変更について」及び報告事項 4「任意予防接種費用助成事業の変更について」説明

○加藤会長

本当に予防接種事業をしっかり拡大していただいて、任意予防接種のなかで带状疱疹の予防接種は外来をやっていると、打ちたいけど高いついていうことも頻繁にありまして、その話を市の方に持っていったところ、助成を出していただけたということに今回なりまして、本当にありがとうございました。こちらの方こそ、どうもありがとうございました。

この9価ワクチンに関しましても、看護大学なんかのキャッチアップがこの対象の人たちばかりになってくるんじゃないかと思うんですけど、また、またそちらの方も。でも、豊田市に住んでない人もいるから、いろいろあるかと思えます。また、よろしく願いいたします。

【報告事項】

(5) 新型コロナウイルス感染症への対応状況について

●前田感染症予防課長

報告事項 5「新型コロナウイルス感染症への対応状況について」説明

○岩月委員

以前ですね豚由来のインフルエンザが流行したときに、感染した後に自宅待機という状況。それで医療機関で治癒証明をもらってから、勤務先に出てきたという、そんな経緯があったのですが、コロナの場合、その辺りの、ワクチンの話はずっと聞いたんですけど、感染して治まりましたと、私自身は10日間の自宅待機で、状況報告をさせていただいたんですけど、10日経ったらもういいよという話で、特に治癒証明云々とかはなかったのですが、そういったことについて、これからコロナの場合の感染した後の治癒証明とかそういうものはどんなような扱いになるのか、もし今わかっていることがありましたらお願いいたします。

●前田感染症予防課長

委員がおっしゃっているのは、5月8日以降のということによろしいですか。

●鈴木感染症予防課感染症業務担当主幹

感染症予防課 鈴木です。お世話になっております。

今、課長の前田がご説明させていただいた資料の中で3番の行動制限というところに、今後5類に移行した後は、コロナと診断された患者さんの外出の自粛が求められなくなるということで、行動制限について、いついつまで自粛だよっていう明確なものがちょっとまだ今現在は示されていないんですが、例えばですが、小中学生とかは季節性インフルエンザにかかったときに、何日かは学校来ちゃいけないよってというような決まりがあるんですが、コロナに何も無いのは、ちょっとやっぱり整合性からすると、よろしくないかなということで、今、文部科学省の方が、新型インフルエンザを基準にコロナをどういうふうにしていくかということをもさに今検討している段階だということですので、それが示された後に大人についても治癒証明等が必要になってくるのかということが協議されるのではないかと考えております。ちょっとまだ今明確に出ておりません。

○加藤会長

よろしいでしょうか。同じ質問を医師会の投げかけでそういうふうに言われます。国の動向をちょっと見ていくしかないかなと。

その他何かございませんか。

このワクチンにつきましても愛西市の件以来、すごく敬遠されている人が多くなっているのが現状だというふうに思います。何にしてもやっぱりコロナ感染症は、実際、まだまだ亡くなる人もいっぱいいるというようなところで感染してしまうと怖い病気だになっていのがありますので、今後も引き続き、ワクチンの接種もそうですし、予防対策をどうやっていくかってを考えなきゃいけないというふうに思っています。本当によろしく願いいたします。

— 以上 —

令和5年3月29日

議事録署名人

Ⓜ

議事録署名人

Ⓜ